

**海洋総合文化ゾーン体験学習施設等特定事業
事業者選定基準**

平成13年5月17日

神奈川県

海洋総合文化ゾーン体験学習施設等特定事業
事業者選定基準

目 次

1 . 審査方式	1
2 . 審査の枠組み	1
(1) 資格審査	1
(2) 事業提案審査	2
(3) 審査項目	2
(4) 定量化審査における配点	3
(5) 定量化審査の最低水準	3
3 . 基礎審査の方法	4
(1) 基礎審査の項目	4
(2) 事業遂行能力	7
(3) 資金計画	8
(4) 水族館を含めた全体提案、及び体験学習施設に係る提案	8
4 . 定量化審査における得点化の方法	9
(1) 資金計画	9
(2) 水族館を含めた全体提案	10
(3) 体験学習施設	16
参考：事業提案審査項目の区分及び配点一覧表	20

1. 審査方式

本事業を実施する事業者は、専門的な知識やノウハウ（設計技術力、建設技術力、維持管理能力、体験学習施設等運営能力、事業経営能力、資金調達能力等）を有することが必要となる。

そのため、事業者の選定にあたっては、独立採算で建設・運営を行う水族館を中核とした海洋総合文化ゾーン整備に関する事業提案内容を主体に、体験学習施設のサービス価格や専門的な知識・ノウハウを総合的に評価して選定することとし、事業者の募集にあたり事業者選定基準を定め公表する。

2. 審査の枠組み

審査は資格審査、事業提案審査の2段階に分けて実施する。なお、審査の手順等については、次のとおりとする。

(1) 資格審査

資格審査については、次のとおり実施する。

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書類に基づき、事務局で確認を行う。

参加資格審査結果通知を発送する。

(資格審査の項目)

- ア 水族館の運営能力を有していること
- イ 一級建築士事務所の登録を行っていること
- ウ 建設企業
 - ・ 建築工事一式等の特定建設業の許可を受けていること
 - ・ 機械器具設置工事の特定建設業の許可を受けていること
 - ・ 経営事項審査結果の総合評点910点以上であること
- エ 構成員の制限
 - ・ 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しないこと
 - ・ 県の指名停止措置を受けていないこと。なお、審査会において、優秀提案、佳作提案を選定するまでの間において、応募者が地方自治法施行令第167条の4の規定に基づく入札参加資格の制限、または、県の指名停止等措置要領に基づく指名停止措置を受けた場合には選定しない。
 - ・ 本事業に係るアドバイザー業務に関与していないこと
 - ・ 最近1年間の事業税を滞納していないこと

(2) 事業提案審査

事業提案審査については、次のとおり実施する。

下記の2審査を経て、最も優れた優秀提案と若干の佳作提案を順位を付して選定する。

基礎審査
定量化審査

(事業提案審査の流れ)

基礎審査

基礎審査においては、応募者の提案内容が、県の要求する最低限の要件をすべて満たしていることを確認する。すべての要件を満たしていることが確認された提案は次の定量化審査に進む。要件を1項目でも満たしていない提案は失格とし、定量化審査の対象となることができない。

なお、提案がバリューフォーマネーを達成していない場合には選定しないものとする。



定量化審査

定量化審査においては、「4. 定量化審査における得点化の方法」に従って評価し得点化する。各評価項目において、加點評価の理由を明らかにしたうえで加點し、評価に基づく各項目の得点の合計が最も高い提案を優秀提案とする。

ただし、同点の場合は、体験学習施設の提案価格を第1順位とし、以下、資金計画(事業の安全性)、水族館を含めた全体提案、体験学習施設の価格以外の提案事項の順で、それぞれの評価点に差のつく項目まで順次比較して優劣を決定する。すべての項目を比較しても同点の場合は、くじ引きにより優秀提案を決定する。

(3) 審査項目

審査する項目は次のとおりとする。

(基礎審査の項目)

業務遂行能力及び資金計画

1. 事業遂行能力...企業の資力、信用力、債務返済能力
2. 資金計画...資金計画の妥当性、前提条件の反映(物価変動率、消費税、基準金利)算出方法(支払利息計算方法、各業務費用の計上)

提案の内容に関する項目

1. 施設の役割
2. 事業全体に...配置計画(環境・景観への配慮、陸域・海域間パブリックアクセスの確保)
関する事項 施設計画(建築物の構造、建築設備等、福祉・環境・景観等への配慮、業務用駐車上等の設置条件、工事期間中の配慮)、開業時期、維持管理業務(清掃業務、建築物保守管理業務、設備保守管理業務、警備業務)、運營業務、付帯業務、事業収支計画、法令等の遵守
3. 体験学習施設...設置の目的と基本コンセプト、設計・建設(導入機能及び施設構成、
設に関する 仕上げ、完成時期)、展示計画、備品等配備計画、運營業務、
事項 コスト縮減

(定量化審査の項目)

資金計画 (事業の安全性)	...	資金計画の確実性、資金不足への対応策、リスクへの対応策、 破綻時の対応策
水族館を含めた 全体提案	...	配置計画 (環境・景観及び利便性確保への配慮)、施設計画 (建築物の構造・建築設備等、福祉への配慮、魅力ある施設 計画、工事期間中の配慮)、開業時期、維持管理業務、運営 業務、付帯業務、水族館の展示計画
体験学習施設	...	建設・設計、展示計画、備品等配備計画、運営業務、 費用・価格 (コスト縮減策)、提案価格

(4) 定量化審査における配点

事業者の選定にあたっては、以下に示す3つの視点から評価を行うこととしており、定量化審査の配点もこの視点ごとに設定する。

本事業においては、事業者が独立採算により運営する水族館等の占める比率が高くなっているが、この独立採算部分の運営は、社会のニーズの変化や市場動向といった外部的要因により大きく左右されることになる。そのため、30年にわたる事業の安定性の確保という観点から提案の審査を行い、資金計画の確実性、長期安定性、事業期間中におけるリスクへの対応等について評価する。

本事業は、県立湘南海岸公園の再整備の一環として実施するものであり、独立採算で運営する水族館等の施設についても、公園の魅力を高める、公園内の教養施設としてふさわしいものであることが求められる。そのため、水族館を含めた施設全体の配置、設計、運営等に関する提案を、公園内の教養施設としての魅力という観点から評価する。

体験学習施設は、県が所有し、事業者の提供するサービスを購入するものであることから、提案価格とあわせて、展示装置や施設の維持管理・運営方法等の諸点で事業者から提供されるサービスが効率的で質の高いものとなっているかを評価する。

[評価項目配点 (100点満点)]

評価項目		配点	
事業遂行能力及び資金計画		20点	
水族館を含めた全体提案		40点	
体験学習施設	価格以外	40点	20点
	価格		20点
合計		100点	

* 提案において、サービスの対価の上限額の85%未満の価格があった場合の満点は、120点とする。(P19 提案価格参照)

(5) 定量化審査の最低水準

定量化審査における総合得点が60点未満の場合は選定しないものとする。

3 . 基礎審査の方法

基礎審査においては、応募者の提案内容が、事業遂行能力、資金計画、施設計画及び維持管理・運營業務の内容（施設の役割、事業全体に関する事項、体験学習施設に関する事項）、のそれぞれにおいて、県の要求する最低限の要件を満たしていることの確認を行う。すべての要件を満たしていることが確認された提案は次の定量化審査に進む。要件を1項目でも満たしていない提案は、内容を再度確認のうえ、失格とする。

（1）基礎審査の項目

基礎審査の項目は次のとおりとする。

基礎審査の項目

業務遂行能力及び資金計画		対応する 提案様式 No.	
1 事業遂行能力	1) 資力・信用力・債務返済能力	(1)	
2 資金計画	2) 資金計画の妥当性	32,35	
	3) 前提条件の反映	物価変動率	35,36
		消費税	35,36
		基準金利	33
	4) 算出方法	支払利息計算方法	32,35
各業務費用の計上		18,28,29,31,35	

(1)の項目の審査では有価証券報告書等の提出資料を参照する。

提案の内容に関する項目 (番号は「要求水準書」の通し番号に対応)		対応する 提案様式 No.			
1 施設の役割		10,11			
2 事業全体に関する事項	(1) 配置計画	1) 環境・景観への配慮	12-1		
		2) 陸域・海域間パブリックアクセス (最低 2 箇所) の確保	12-2		
	(2) 施設計画	1) 建築物の構造、 建築設備等	鉄筋コンクリート造	15	
			建築面積上限	15	
			建物高さ上限	15	
			適切な塩害対策及び飛砂対策	13-1,13-2	
			混雑時の対応策及び避難経路等の確保	13-3,13-4	
	(2) 施設計画	2) 福祉・環境・景観等への配慮	福祉への配慮	13-6	
			環境への配慮	13-5	
			景観への配慮	13-5	
	(2) 施設計画	3) 業務用駐車場等の設置条件		15	
			4) 工事期間中の配慮	作業ヤードの効率的利用	13-8
				振動・騒音対策と早期完成への配慮	13-8
	(2) 施設計画	4) 工事期間中の配慮	公園利用者の安全確保	13-8	
	(3) 開業時期	平成 16 年 7 月までの同時開業	19		
	(4) 維持管理業務	1) 清掃業務	20,21		
2) 建築物保守管理業務		20,21			
3) 設備保守管理業務		20,21			
4) 警備業務		20,21			
(5) 運営業務	社会的ニーズの把握とそれに対応した魅力ある企画・運営	23,24			
	4) 施設の運営の一体化による効率的かつ質の高いサービスの提供	23,24			
(6) 付帯業務	公園利用者の利便性の向上に資する付帯施設 (制限事項の遵守を含む)	26			
(7) 事業収支計画	現実的な資金計画	32,35			
(8) 法令等の遵守		17			
(見積りにおける留意点)	明確な建設費算出根拠の提示	18,31			
	水族館の建設費一部支援金が設定上限額を超えていないこと	31-1,35,37			

3 体験学習施設に関する事項	(1)設置の目的と基本コンセプト		10,11,14	
	(2)設計・建設	1)導入機能及び施設構成	14	
		2)仕上げ	16	
		3)完成時期	19	
	(3)展示計画、備品等配備計画	1)展示計画	展示装置等に備える機能	24-7
			展示装置等の規模及び配置	24-7
	(4)運営業務	2)備品等配備計画	基本コンセプト及び機能に整合した備品等の配備	24-7
		適切な人員の配置		24-6
		指導員による積極的な教育		24-6
		各種プログラムの企画		24-6
	(5)コスト縮減	情報の収集・提供		24-6
		事業期間を通じたライフサイクルコストの縮減		27
(価格提案における留意点)	明確な費用算出根拠の提示		22,25,28,29, 31-2,35-2	
	サービス価格総額の上限を超えていないこと		35,36,37	

(2) 事業遂行能力

視点

- 資力 事業を行うにあたっての資金確保が可能か。
- 信用力 事業を計画どおりに遂行し得る財政力（体力・安定性）があるか。
- 債務返済能力 返済不能となる危険性がないか。

評価対象

- ・グループ代表者及び建設会社
- ・グループを構成する企業のうち上記以外の東京もしくは大阪、名古屋証券取引所1部及び2部上場企業

評価方法

- ・下記の評価項目より業務遂行能力を確認する。明らかに業務遂行能力に不安があり（各評価項目に対応した指標が一定の基準（適格基準）に達していない場合）、かつ代替信用補完措置も提案されていない場合は、内容確認のうえ、失格か否かの判断を行う。

評価基準

次の評価基準に基づき審査を行う。

・評価内容

評価項目	評価内容
資力	提案事業に必要な資金が既存の事業活動の中で生み出せているか。
信用力	過去の経営状況を反映した総合的な信用力があるか。
債務返済能力	S P Cの債務を負担し得る能力があるか。
代替信用補完措置	現状、事業遂行能力に不安があると思われる場合、代替信用補完措置（第三者による履行保証）を付しているか。

・評価指標

評価項目	評価に用いる指標と算出根拠
資力	事業キャッシュフロー規模（事業利益 - 支払利息・割引料 + 減価償却費） 総キャッシュフロー規模（当期純損益 - 配当・賞与 + 減価償却費）
信用力	経常収支 自己資本金額（資本の部合計）
債務返済能力	利払能力（（事業損益 + 減価償却費） / 支払利息・割引料）

・適格基準

（以下の条件のいずれかにあてはまる場合は業務遂行能力に不安と評価する。）

評価項目	評価指標	評価基準
資力	事業キャッシュフロー規模 総キャッシュフロー規模	3期連続で総額がマイナス値の場合 3期連続で総額がマイナス値の場合
信用力	経常収支 自己資本金額	3期連続で赤字の場合 3期連続で債務超過にある場合
債務返済能力	利払能力 有利子負債比率	最近期の値が1.0未満の場合 最近期の値が100%以上の場合

(3) 資金計画

資金計画の妥当性

- ・ 資金計画に実現可能性があるか確認を行う。
- ・ 資金計画に実現可能性がないことが明らかな場合は、内容を確認のうえ、失格か否かの判断を行う。

事業シミュレーション内容の確認

- ・ 応募者から提案された体験学習施設のサービスの対価、ならびに水族館・既存2施設の事業費及び建設費一部支援金の価格について、募集要項に示した前提条件が正確に反映されているか、また、計算上の誤りの有無について確認を行う。
- ・ 上記価格等の算出方法に誤りがあることが明らかな場合は、内容を確認のうえ、失格か否かの判断を行う。

確認項目

確認項目	内 容
前提条件の反映に関する確認	物価変動率を見込まないで計算をしているか。
	消費税を除いた額でサービスの対価を計算しているか。
	指定した基準金利を用いているか。
算出方法の確認	支払利息の計算方法が適正か。
	「要求水準書」を踏まえ、各業務の費用が計上されているか。

(4) 水族館を含めた全体提案、及び体験学習施設に係る提案

施設の役割、配置計画、施設計画、展示計画、備品等配備計画、維持管理業務、運営業務及び費用・価格等の内容について、県が要求する最低限のサービス・機能を満たしていることの確認を行う。具体的には、(1)基礎審査の項目に示した各項目についての記述、及び定量的・客観的な水準を充足していることの確認を行う。

4. 定量化審査における得点化の方法

(1) 資金計画

事業の安定性

長期安定性の実現、維持管理・運営期間中のリスク及び破綻に対する対応が十分なされていると評価した場合に加点する。得点は1項目ごとに1.4点とする。

(計算例) 資金計画における安全性の確保 (配点20.0点)

区分	A社	B社	C社
評価項目	14項目を満たしている	8項目を満たしている	1項目も満たしていない
得点	20.0点	11.2点 8項目×1.4	0点

(評価項目)

資金計画の確実性

- ・事業に関する金融機関の関心表明書の取得
- ・融資予定額が資金計画における資金借入額以上となる関心表明書の取得
- ・グループの構成企業以外の金融機関からの関心表明書の取得
- ・金融機関からの融資確約の取得（応募者と金融機関との間で合意された募集要項等の内容と整合がとれた停止条件付きのローン契約（タームシート））
- ・借入金額が30年未満で返済可能となる借入期間の設定

資金不足への具体的な対応策

- ・株主による追加出資または劣後ローンによる対応策
- ・株主等の信用力による金融機関等からの資金枠の設定
- ・配当部分の一部積立て
- ・予備費を含めた資金調達

リスクへの具体的な対応策

- ・施設賠償保険以外の保険の付保（建設段階）
- ・施設賠償保険以外の保険の付保（運営段階）
- ・維持管理業務及び運營業務に対するバックアップ体制の確保
- ・具体性及び実現可能性が高い具体的なバックアップサービスの明示

破綻時の対応策

- ・体験学習施設の建設費の10%と水族館建設費への支援金額との合計額以上となる資本金の設定

(2) 水族館を含めた全体提案

配置計画（環境・景観及び利便性確保への配慮）

配置計画に関し、環境・景観への配慮及び利便性の確保について具体的で優れた提案と評価した場合に加点する。得点は1項目ごとに0.6点とする。

（計算例） 配置計画（環境・景観、利便性確保への配慮） （配点5.0点）

区分	A社	B社	C社
評価項目	8項目を満たしている	4項目を満たしている	1項目も満たしていない
得点	5.0点	2.4点 4項目×0.6点	0点

（評価項目）

環境・景観への配慮

- ・既存樹木数の確保策
 - ・公園内の既存林の伐採・移植を伴わない配置計画
 - ・国道側から海への眺望に対する配慮
 - ・その他の創意工夫による環境・景観への配慮
- 歩行者の利便性確保・向上への配慮
- ・4施設間の周遊性のある動線の確保
 - ・3個所以上の陸域・海域間のパブリックアクセスの確保
 - ・陸域・海域間のアクセスのうち1個所で6m以上の幅員の確保
 - ・その他の創意工夫による利便性の確保への配慮

施設計画（建築・設備等）

施設計画のうち、建築・設備等について具体的で優れた提案と評価した場合に加点する。ただし、本項目においては設計や施工方法のほか、維持管理・運営に関連する提案も併せて評価の対象とする。得点は1項目ごとに0.5点とする。

（計算例） 施設計画（建築・設備等） （配点4.0点）

区分	A社	B社	C社
評価項目	8項目を満たしている	4項目を満たしている	1項目も満たしていない
得点	4.0点	2.0点 4項目×0.5点	0点

(評価項目)

- 適切な塩害・飛砂対策の実施
- ・鉄筋コンクリートの劣化対策
- ・腐食対策
- ・適切な飛砂対策
- 混雑時における来訪者への配慮
- ・適当な休憩所の設置
- ・円滑な誘導策
- ・その他の創意工夫による配慮
- 自然環境への負荷に対する配慮
- ・海水の閉鎖循環方式の採用
- ・その他環境への配慮

施設計画（福祉への配慮）

施設計画のうち、福祉への配慮について具体的で優れた提案と評価した場合に加点する。その中で、特に車椅子利用者に特段の配慮がされた動線が確保されている場合には2点、その他の福祉への配慮がされた提案は1項目ごとに0.5点とし、最大4項目まで加点の対象とする。なお、本項目においては設計や施工方法のほか、維持管理・運営において関連する提案も併せて評価の対象とする。

(計算例)

施設計画（福祉への配慮）

(配点4.0点)

区分	A社	B社	C社
評価項目	動線を確保しており その他が4項目	動線は確保されない が、その他が3項目	1項目も満たしてい ない
得点	4.0点 2点 + 4項目 × 0.5	1.5点 0点 + 3項目 × 0.5	0点

(評価項目)

- 福祉への配慮
- ・車椅子利用者に特段の配慮がされた動線の確保
(緩傾斜のスロープ、エレベーターの空間の確保等)
- ・その他の福祉への配慮

施設計画（魅力ある施設計画）

施設計画が魅力あるものと評価した場合に、次の評価の視点をもとに A～E の 5 段階で評価し、各段階に応じて規定された得点を付加する。

魅力ある施設計画（配点 4.0 点）

評価	A	B	C	D	E
点数	4.0点	3.0点	2.0点	1.0点	0点

（評価の視点）

- ・周辺の自然環境や街並み等に調和したデザイン
- ・なぎさをイメージさせるデザイン
- ・独創性、創造性のあるシンボリックなデザイン
- ・周辺の自然景観を楽しめる工夫
- ・空間の効率的な利用
- ・その他魅力ある施設計画

施設計画（工事期間中の配慮）

施設計画のうち、工事期間中の環境や周辺への配慮について具体的で優れた提案と評価した場合に加点する。得点は 1 項目ごとに 0.6 点とする。

（計算例） 施設計画（工事期間中の配慮）（配点 3.0 点）

区分	A 社	B 社	C 社
評価項目	5項目を満たしている	3項目を満たしている	1項目も満たしていない
得点	3.0点	1.8点 3項目×0.6点	0点

（評価項目）

- ・SPM（浮遊粒子状物質）対応の建設機械の導入
- ・夏季の混雑時における交通渋滞等への配慮
- ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の基準を上回る対応
- ・イメージアップ対策の採用
- ・その他周辺への影響の軽減措置の導入

早期同時開業（平成16年7月以前）

4施設の早期同時開業の提案が実現可能な工程に基づいてなされた場合、その時期に応じ加点する。前半は1日から15日まで、後半は16日以降とする。

（計算例） 早期同時開業 （配点3.0点）

開業時期	4月		5月		6月		7月
	前半	後半	前半	後半	前半	後半	
得点	3.0点	2.5点	2.0点	1.5点	1.0点	0.5点	0点

維持管理業務

維持管理業務を効率化するための工夫が認められる提案に対して加点する。（実現可能な具体的提案で優れたものと判断された場合に限る。また、維持管理しやすい設計の工夫を含む。）得点は1項目ごとに0.6点とし、最大5項目まで加点の対象とする。

（計算例） 維持管理業務 （配点3.0点）

区分	A社	B社	C社
評価項目	5項目を満たしている	3項目を満たしている	1項目も満たしていない
得点	3.0点	1.8点 3項目×0.6	0点

運營業務

運營業務において、具体的で優れた提案であると評価した場合に加点する。「その他の優れた運營業務」は最大3項目まで加点の対象とする。得点は1項目ごとに0.5点とする。

（計算例） 運營業務 （配点5.0点）

区分	A社	B社	C社
評価項目	10項目を満たしている	6項目を満たしている	1項目も満たしていない
得点	5.0点	3.0点 6項目×0.5点	0点

（評価項目）

- ・生物の保全・育成の機能

- ・大学や研究機関との連携による生態系や気象・海象等についての調査研究機能
- ・生物とのふれあいを学ぶことのできる機能
- ・海洋に関するボランティア活動の支援
- ・閑散期における集客力の向上を図るための方策
- ・リピート利用を促すための方策
- ・社会のニーズを取り入れるための方策
- ・その他優れた運営業務

付帯業務

付帯業務（飲食店及び売店）において、具体的で魅力ある提案と評価した場合に加点する。得点は、飲食店及び売店それぞれについて、1項目ごとに0.5点とする。

（計算例）		付帯業務			（配点3.0点）
区分	A社	B社	C社		
評価項目	6項目を満たしている	4項目を満たしている	1項目も満たしていない		
得点	3.0点	2.0点 4項目×0.5点	0点		

（評価項目）

- ・年間を通じた営業の工夫
- ・水族館等との連携の工夫
- ・地域の特性や周辺環境を活かした店づくりの工夫

水族館（優れた水槽展示計画）

水族館の水槽展示において、具体的で優れた提案と評価した場合に加点する。
得点は1項目ごとに0.5点とする。

（計算例） 優れた水槽展示計画 （配点2.0点）

区分	A社	B社	C社
評価項目	4項目を満たしている	3項目を満たしている	1項目も満たしていない
得点	2.0点	1.5点 3項目×0.5点×1.5	0点

（評価項目）

- ・テーマ性を考慮した水槽展示
- ・自然の生態系を再現した水槽展示
- ・相模湾の生物等を理解できる水槽展示
- ・クラゲ類の完全飼育による水槽展示

水族館（魅力ある展示計画）

水族館全体の展示において、具体的で魅力ある提案と評価した場合に加点する。
加点は次の評価の視点をもとにA～Eの5段階で評価し、各段階に応じて規定された得点を付加する。

魅力ある展示計画 （配点4.0点）

評価	A	B	C	D	E
点数	4.0点	3.0点	2.0点	1.0点	0点

（評価の視点）

- ・集客効果のある生物等の展示
- ・魅力ある展示方法
- ・水槽等の工夫

(3) 体験学習施設

設計・建設

体験学習施設の設計・建設について、具体的で優れた提案と評価した場合に加点する。得点は1項目ごとに0.5点とする。

(計算例) 体験学習施設の設計・建設 (配点2.0点)

区分	A社	B社	C社
評価項目	4項目を満たしている	3項目を満たしている。	1項目も満たしていない
得点	2.0点	1.5点 3項目×0.5点	0点

(評価項目)

- ・使いやすい施設のレイアウト
- ・湘南やなぎさをイメージした内装・デザインの工夫
- ・化学物質の削減に配慮した仕上材の使用
- ・その他の配慮

展示計画

体験学習施設のなぎさ体験ゾーンの展示計画・展示更新計画に関し、具体的で魅力ある提案と評価した場合に加点する。得点は1項目ごとに0.8点とする。

(計算例) 体験学習施設の展示計画 (配点5.0点)

区分	A社	B社	C社
評価項目	6項目を満たしている	3項目を満たしている。	1項目も満たしていない
得点	5.0点	2.4点 3項目×0.8	0点

(評価項目)

- ・参加性・体験性の高い展示装置等
- ・楽しみながら学べる展示装置等
- ・先進性・話題性のある展示装置等
- ・年齢、性別を問わず多くの人々が学べる展示装置等
- ・更新しやすいシステムとする工夫
- ・その他の優れた展示計画・展示更新計画

備品等配備計画

体験学習施設の学習・実験室、なぎさ資料室（フィールドステーション）における備品等配備計画に関し、具体的で優れた提案と評価した場合に加点する。得点は1項目ごとに0.5点とする。

（計算例） 体験学習施設の備品等配備計画 （配点3.0点）

区分	A社	B社	C社
評価項目	6項目を満たしている	4項目を満たしている。	1項目も満たしていない
得点	3.0点	2.0点 4項目×0.5	0点

（評価項目）

優れた備品等配備計画

（備品等の内容・数量に具体性があり、運営業務の提案と整合性がとれた提案で優れていると評価できるもの）

- ・情報提供装置
 - ・標本類
 - ・文献等
 - ・実験器具類
 - ・その他の備品等
- 備品等の配置
- ・利用しやすい備品等のレイアウト

運営業務

体験学習施設の運営業務に関し、具体的で魅力ある提案と評価した場合に加点する。得点は1項目ごとに0.5点とする。

（計算例） 体験学習施設の運営業務 （配点8.0点）

区分	A社	B社	C社
評価項目	16項目を満たしている	7項目を満たしている。	1項目も満たしていない
得点	8.0点	3.5点 7項目×0.5点	0点

（評価項目）

指導員による教育

- ・指導員の十分な経験・能力
- ・指導員による具体的な教育内容・方法

各種プログラムの企画

- ・閑散期に対応したプログラムの企画
- ・季節に応じたプログラムの企画
- ・地域住民を対象とした生涯学習・環境学習プログラムの企画
- ・その他魅力あるプログラムの企画

情報の収集・提供

- ・収集・提供する情報の具体的内容、方法等
- ・情報収集・提供業務を行う人材の十分な経験・能力
- ・関連する他の機関との連携
- ・公園のビジターセンターとしての情報提供の工夫
- ・その他魅力ある情報収集・提供

より充実した魅力ある運營業務

- ・利用者の意見を取り入れるシステム
- ・利用者の増加を図るための工夫
- ・リピート利用を促す仕組み
- ・運營業務へのボランティア等の活用
- ・その他魅力ある企画・運営計画

費用、価格（優れたコスト縮減策）

体験学習施設の提案価格を引き下げるため、応募者の創意工夫、ノウハウを活かし、具体的で優れたコスト縮減策が提案されていると評価した場合に加点する。得点は1項目ごとに0.4点とする。

（計算例）		体験学習施設の優れたコスト縮減策		（配点2.0点）
区分	A社	B社	C社	
評価項目	5項目を満たしている	3項目を満たしている	1項目も満たしていない	
得点	2.0点	1.2点 3項目×0.4点	0点	

（評価項目）

- ・工事費の縮減策
- ・維持管理・運営費の縮減策
- ・修繕費の縮減策
- ・展示更新費の縮減策
- ・その他のコスト縮減策

提案価格

体験学習施設にかかるサービスの対価について、次の配点表に従い加点する。

(配点表) 提案価格 (配点20.0点)

提案価格(X)	得点(Y)
X ≥ B のとき	$Y = 20 - (X - B) \times 10 / (A - B)$
X < B のとき	$Y = 20 + (B - X) \times 20 / B$
A : サービスの対価の上限額 B : サービスの対価の上限額の 85% 金額は百万円単位 (小数点以下は切り上げ) 得点は小数点以下第 3 位を四捨五入 * 提案において、サービスの対価の上限額の 85% 未満の価格となった場合、 配点は最大で 40 点となり、この場合、満点は 120 点となる。	

《計算例》 (A = 2,194 百万円 ; B = 1,865 百万円)

ケース	提案価格	得点計算
	2,194 百万円	$20 - (2,194 - 1,865) \times 10 / (2,194 - 1,865) = 10.00$ 点
	2,000 百万円	$20 - (2,000 - 1,865) \times 10 / (2,194 - 1,865) = 15.90$ 点
	1,865 百万円	$20 - (1,865 - 1,865) \times 10 / (2,194 - 1,865) = 20.00$ 点
	1,500 百万円	$20 + (1,865 - 1,500) \times 20 / 1,865 = 23.91$ 点
	0 百万円	$20 + (1,865 - 0) \times 20 / 1,865 = 40.00$ 点

参考：事業提案審査項目の区分及び配点一覧表（1）

審査項目				事業提案審査				
				基礎審査	定量化審査(※)			
1 業務遂行能力及び資金計画	事業遂行能力	資力		-				
		信用力		-				
		債務返済能力		-				
	資金計画	資金計画の安全性	資金計画の妥当性		-			
			事業の安定性	資金計画の確実性		-		
				資金不足への対応策		-	20.0	34, 39, 40
				リスクへの対応策		-		
		破綻時の対応策		-				
		前提条件等	前提条件の反映	物価変動率		-		
				消費税		-		
基準金利			-					
算出方法		支払利息計算方法		-				
		各業務費用の計上		-				
2 水族館を含めた全体提案	施設の役割			-				
	配置計画	(基礎審査項目)	環境・景観への配慮		-			
			最低限（2箇所）の陸域・海域間アクセスの確保		-			
	(定量化審査項目)	環境・景観への配慮についての具体的で優れた提案		-	5.0	12-1, 12-2		
		歩行者の利便性確保・向上への配慮		-				
	施設設計画	建築物の構造、建築設備等	鉄筋コンクリート造		-			
			建築面積上限		-			
			建物高さ上限		-			
			適切な塩害対策及び飛砂対策		-			
			混雑時の対応策及び避難経路等の確保		-			
			適切な塩害・飛砂対策の実施		-	4.0	13-1~13-5	
			混雑時における来訪者への配慮		-			
			自然環境への負荷に対する配慮		-			
	福祉・環境・景観等への配慮	福祉への配慮		-				
		環境への配慮		-				
		景観への配慮		-				
		福祉への配慮についての具体的で優れた提案		-	4.0	13-6		
	業務用駐車場等の設置条件			-				
	魅力ある施設計画			-	4.0	13-7		
	工事期間中の配慮	作業ヤードの効率的利用		-				
		振動・騒音対策と早期完成への配慮		-				
		公園利用者の安全確保		-				
		周辺への影響（工事渋滞、環境負荷等）の軽減措置		-	3.0	13-8		
開業時期	平成16年7月までの同時開業		-					
	平成16年7月以前の早期同時開業		-	3.0	19			
維持管理業務	清掃業務		-					
	建築物保守管理業務		-					
	設備保守管理業務		-					
	警備業務		-					
	維持管理業務を効率化するための具体的工夫		-	3.0	20,21			

備考 定量化審査の欄の右側の数値は各項目の評価の際に参照する提案様式の番号を示す(基礎審査の際に参照する提案様式については5～6ページの表を参照)。

参考：事業提案審査項目の区分及び配点表一覧（２）

審査項目		事業提案審査				
		基礎審査	定量化審査(※)			
2 水族館を含めた全体提案(続き)	運営業務	社会的ニーズの把握とそれに対応した魅力ある企画・運営		-		
		4施設の運営の一体化による効率的かつ質の高いサービスの提供		-		
		質の高い運営を行うための具体的工夫		-	5.0	23,24-1/4/5
		水族館の展示	優れた水槽展示計画	-	2.0	24-3
	魅力ある展示計画		-	4.0	24-2	
	付帯業務	公園利用者の利便性の向上に資する付帯施設（制限事項の遵守を含む）		-		
		具体的で魅力のある付帯業務の提案		-	3.0	26
	事業収支計画	現実的な資金計画		-		
(見積りにおける留意点)	明確な算出根拠の提示		-			
	水族館の建設費一部支援金が設定上限額を超えていないこと		-			
法令・基準等の遵守				-		
3 体験学習施設	設置の目的と基本コンセプト		-			
	設計・建設	導入機能及び施設構成		-		
		仕上げ		-		
		完成時期		-		
		設計・建設について具体的で優れた提案（レイアウト、デザイン、仕上げ等）		-	2.0	14,16
	展示計画、備品等配備計画	展示計画	展示装置等に備える機能	-		
			展示装置等の規模及び配置	-		
			具体的で魅力ある展示計画	-	5.0	24-7
		備品計画	基本コンセプト及び導入機能と整合した備品等の配備		-	
	具体的で優れた備品等配備計画		-	3.0	24-7	
	運営業務	(基礎審査)	適切な人員の配置	-		
			指導員による教育	-		
			各種プログラムの企画	-		
			情報の収集・提供	-		
		(定量化審査)	指導員による教育に関して優れた提案		-	8.0
各種プログラムの企画に関して優れた提案			-			
費用・価格	事業期間を通じたライフサイクルコストの縮減		-			
	具体的で優れたコスト縮減策		-	2.0	27	
(価格提案における留意点)	費用の明確な算出根拠の明示		-			
	提案額がサービス価格総額の上限を超えていないこと		-			
提案価格			-	20.0	37	
合計				-	100.0	

備考1 定量化審査の欄の右側の数値は各項目の評価の際に参照する提案様式の番号を示す(基礎審査の際に参照する提案様式については5～6ページの表を参照)。

- 2 「3 体験学習施設の提案価格」が上限額の85%未満となった場合の配点は、最大で40点となり、この場合、満点は120点となる。